



# 富士見の景観

富士見小学校の児童昇降口の前に「シダレヤナギ」がある。樹齢は100年を超える。目通りは263cm、斜めに立っている幹の長さは20mくらい。根元から4mくらいは、すっかり「うろ」になっている。皮は、厚いところでも20cm、薄いところでは10cmほどの木質を残しているだけだ。よく見ると、「うろ」を覆うように新しい皮が包み込んでいる。すごい生命力だ。しだれた細い枝にはたくさん葉をつけている。地面を見るとあちこちに花が落ちていた。花の形から、この木は雄の木であるとわかった。

葛窪の加々見一郎さんは、70年前の昭和14年（1939）に教師として富士見小学校に着任し、この木と初めて出会った。当時から大きな木で、その頃は根元にあった池に、くねった姿を映していたという。90歳を超えられて思い出の「シダレヤナギ」と再会した。今も力強く生き抜いている姿を見て絶賛していた。

永い年月風雪に耐えずいぶん傷ついていたが、幹の太さはあまり変わらず、同じ場所に居て皆を見守っている。



シダレヤナギの雄花

涼しげに  
ゆら〜り吹かれて柳腰

シダレヤナギ【枝垂柳、学名:Salix babylonica】ヤナギ科ヤナギ属の落葉高木。雌雄異株。別名イトヤナギ(糸柳)。葉は披針(ひしん)形。中国原産で奈良時代に持ち込まれたようです。各地で、水路沿いや公園などの植栽、街路樹として使われてきました。早春、葉に先だち、長さ2~3cmの花穂をつけます。しかし雌株は少なく、数少ない小さな種子より、効率のよい挿し木によって繁殖されてきたようです。梢(こすえ)から垂れ下がった枝は、普段の風にはそよぎ、また強風には耐えているのでしょう。時折吹き飛ばされ、あるいは水に流されていく方法で繁殖したのでしょうか。河原に生育している柳は、上流から流されてきた枝が定着して繁殖したのかも知れません。

問 富士見町役場 建設課 都市計画管理係 ☎ 0266-229216

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html> の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成24年5月1日現在(前月比)  
住民基本台帳人口 男性/7,491人(+2) 女性/7,731人(+10) 合計/15,222人(+12) 世帯/5,676世帯(+7)
- ◆発行日 平成24年6月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール [fujimi@town.fujimi.lg.jp](mailto:fujimi@town.fujimi.lg.jp) ◆印刷 (有)富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター  
TEL 0120-890-422